

令和元年度 自己評価報告書

群馬県高等歯科衛生士学院

令和元年度重点目標に対する結果

歯科衛生士としての知識と技術の指導は基より、人として何より大切な優しさや思いやりのある人材の育成

[具体的な目標値]

①目標項目: 実習中の医療事故・同じ内容のインシデント数			
◇元年度目標値:	0 件 (30年度)	0 件 /	学生の針刺し事故 0 件
			傷害事故 0 件
	(29年度)	1 件 /	学生の針刺し事故 0 件
			傷害事故 1 件
インシデント数:	報告されていない	0 件	
実習中の針さし事故については		0 件	傷害事故 0 件
評価:	「 4 」		

②目標項目: 国家試験合格率			
◇元年度目標値:	100 % (30年度)	100 % (29年度)	98 %
令和元年度卒業 49 期生について、1名不合格。合格率			97.7 %
評価:	「 3 」		

③目標項目: 県内就職率			
◇元年度目標値:	100 % (30年度)	88.2 % /	51 名 (県内 45 名)
			(県外 6 名)
	(29年度)	84.6 % /	52 名 (県内 44 名)
			(県外 7 名)
卒業生 45 名のうち、44 名が就職を希望し、県内に 36 名、県外に 8 名が就職。県内就職率は	81.8 %		
評価:	「 3 」		

④目標項目: 定員数の確保			
◇元年度目標値:	50 名 (30年度)	42 名 /	指定校推薦 (29 名)
			公募推薦 (11 名)
			自己推薦 (1 名)
			一般入試 (1 名)
	(29年度)	54 名 /	指定校推薦 (42 名)
			公募推薦 (11 名)
			自己推薦 (0 名)
			一般入試 (1 名)
定員数 50 名のうち、38 名が入学。入学定員充足率は			76 %
評価:	「 3 」		

⑤目標項目: 教員の指導力の向上			
◇元年度目標値:	100 % (30年度)	100 % (29年度)	100 %
新たな知見の解明、治療法の進捗、機器の開発など歯科医療の進展や学生を取り巻く社会環境の変化に対応し、教員の指導力を高めていく必要がある。このことから、専任教員などが学会や研修会などの各種機会に積極的に参加していく。			
参加率	92 %		
評価:	「 4 」		

令和元年度重点目標に対する評価と意見

【評価数値】

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや適切 1:不適切

各評価項目の評価値の平均値を「評価」とし、小数点以下1桁までの数値で表示した。

①今年度の重点目標の達成の度合いはどの程度だと思いますか。

令和元年度重点目標		評価
1	臨床実習において、より一層の知識・技術力の向上に取り組むとともに、医療人として人間性豊かな社会性を身につけることを目指す。	3.3
2	患者等に対し安全な歯科衛生の技術が提供でき、科学的思考と主体的実践能力を備えた人材を育成し、国家試験合格率100%を目指す。	3.0
3	群馬県の歯科医療の充実を図るため、県内医療機関等への就職率の向上を図る。	3.4
4	少子化が進み、入学希望者の減少が予測される。オープンキャンパス、高校訪問等を実施し、収容定員を満たすよう学生確保に努める。	2.9
5	教員の指導力を高めていくため学会や研修会などの各種機会に積極的に参加していく。	3.1

②今年度の重点目標に対する取り組みで良かった点、不十分な点を具体的に上げてください。

- ・ 臨床実習において、知識・技術力向上の為積極的に取り組み、医療人としての社会性を十分身につけた。
- ・ 国家試験不合格者がおり合格率100%に届かなかったが、全国合格率を上回ることはできた。
- ・ オープンキャンパス・高校訪問を実施したが、収容定員を確保するに至らなかった。

③来年度に向け、目標達成のため効果があると思われる取組があればご記入ください。

- ・ 臨床実習開始前に医療人としてのマナーや情報を提供し、社会性の向上を図る。
- ・ 早目の国家試験対策、教員による指導を強化し、国家試験合格率100%を目指す。
- ・ 講義中の居眠りに対する取り組み。
- ・ 県内医療機関への就職率向上の為、先生方と連携を図る。
- ・ 高校生に歯科衛生士の魅力を、学校訪問時やホームページ等webを利用し伝える。

④今年度の重点目標の他に、来年度重点的に取り組んだら良いと思われることがあればご記入ください。

- ・ 座学終了時での学力習熟度を計るための試験を実施し、早期での学力の把握を行い、改善策を講じる。
- ・ web授業の充実を図る。
- ・ 経済的に困難と思われる学生に対し、経済支援体制を強化する。
- ・ 卒業生への支援体制を整える。

令和元年度「学校評価」自己評価集計結果

評価分野	学院が設定する評価項目	評価
1 教 育 理 念	1 理念・目標・育成人材像は定められているか(専門分野の特性は明確になっているか) 2 社会のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか 3 理念・目標・育成人材像等は学生や保護者に周知されているか 4 各学科の教育目標、育成人材像は、職業領域のニーズに向けて方向付けられているか	3.1
2 学 校 運 営	5 学校の設置目的に沿った運営方針が策定されているか 6 一運営方針に沿った事業計画が策定されているか 7 運営組織や意志決定機能は規程等において明確化され、有効に機能しているか 8 人事・給与に関する制度は整備されているか 9 教務・財務の意志決定システムは整備されているか 10 各職業領域の法を遵守し、公平公正に業務に従事するような体制が整えられているか 11 教育活動に関する情報公開が適切になされているか 12 情報システム化等による業務効率化が図られているか	3.6
3 教 育 活 動	13 教育理念に沿った教育課程の編成がなされているか 14 教育理念・育成人材像や職業領域のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 15 カリキュラムは体系的に編成されているか 15 実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか 17 病院、診療所などの管理者、指導者等からの意見を聞き、カリキュラム運営の参考にしているか 18 関連分野において、実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか 19 授業評価の実施・評価体制はあるか 20 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 21 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 22 職業領域からの優れた講師の確保などマネジメントが行われているか 23 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.6
4 学 業 成 果	24 就職率の向上は図られているか 25 資格取得率の向上は図られているか 26 退学率の低減は図られているか 27 卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 28 卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校教育活動の改善に活用されているか	3.4
5 学 生 支 援	29 就職に関する支援体制は整備されているか 30 学生相談に関する体制は整備されているか 31 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか 32 学生の健康管理を担う組織体制はあるか 33 学生の生活環境への支援は整備されているか 34 保護者と適切に連携しているか 35 卒業生への支援体制はあるか 36 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.4

令和元年度「学校評価」自己評価集計結果

評価分野	学院が設定する評価項目	評価
6 環境教育	37 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 38 学内外の実習施設について、十分な教育体制を整備しているか 39 防災に対する体制は整備されているか	3.7
7 学生募集	40 学生募集活動は適正に行われているか 41 学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3.4
8 財務	42 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか 43 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 44 財務について会計監査が適正に行われているか 45 財務情報公開の体制整備はできているか	3.4
9 法令遵守等	46 法令、専修学校設置基準等の遵守と運営がなされているか 47 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 48 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 49 自己評価結果を公開しているか	3.4
10 その他		